



防災

ガイドブック

令和4年12月 改訂版

支え合いで、
安心安全を
共感するまちへ。



防災情報

地震

風水害

土砂災害

避難所

士幌町防災ガイドブックについて

このガイドブックは、浸水予測区域やその他の自然災害に関する情報を住民の皆さんに分かりやすく提供することを目的として作成したものです。

自然災害に対する心構えをしっかりと身に付け、いざというときに落ち着いた行動をとれるようにしましょう。

巻末ポケットには、ハザードマップ〈風水害・土砂災害〉を収録し、地図上に想定される浸水の深さや避難場所

などを示していますので、ご確認ください。

災害はいつ発生するかわかりません。前もって家族会議を開き、避難場所の確認やそれぞれの役割分担、連絡方法などを決めておくといひでしょう。

本ガイドブックは、いつでも手の届く場所に大切に保管しておきましょう。

目次

防災情報

P.1 避難情報の種類

避難所の種類

P.2 災害の被害を軽減するために

P.3 自主防災組織

要配慮者(避難行動要支援者)

P.4 防災無線の導入と防災ラジオの貸し出し

避難所での感染症対策

P.5 『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト

災害への備え～日常生活で消費しながら備蓄する～

地震

P.6 地震発生時の行動

P.7 揺れの強さ

家屋・室内の安全対策

風水害

P.8 風水害に備える

P.9 風水害の危険度

洪水についての基礎知識

P.10 風水害時の心得

気象庁の注意報・警報

土砂災害

P.11 土砂災害の種類

こんな前ぶれ現象に注意！

安全に避難するために

避難所

P.12 指定避難所・指定緊急避難場所一覧

ハザードマップ〈風水害・土砂災害〉

巻末ポケット 士幌町全域・市街地拡大



防災情報

避難情報の種類 Types of evacuation information

災害時には、士幌町から災害情報や避難指示などの情報を発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動をとりましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

In the event of a disaster, Shihoro Town will send out disaster information and evacuation orders. When you receive a call for evacuation, act promptly to save your life. Also, if you feel you are in danger, evacuate voluntarily.

警戒レベル Alert Level	取るべき行動 What you should do	避難の情報 Evacuation information
5	命の危険 直ちに安全確保！ Your life is in danger. You should immediately keep yourself safe.	緊急安全確保※1 (士幌町が発令) Emergency Safety Measures ※1 (issued by Shihoro town)

～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～
＜Be sure to evacuate by Alert Level 4!＞

4	危険な場所から全員避難 All people should be evacuated from dangerous places.	避難指示 (士幌町が発令) Evacuation Instruction (issued by Shihoro town)
3	危険な場所から 高齢者等は避難 The elderly and the vulnerable should be evacuated from dangerous places.	高齢者等避難※2 (士幌町が発令) Evacuation of the Elderly, Etc. ※2 (issued by Shihoro town)
2	自らの避難行動を確認 Reconfirm what should you do for evacuation.	大雨・洪水注意報 (気象庁) Heavy Rain, Flood, or Storm Surge Advisories (Japan Meteorological Agency)
1	災害への心構えを高める Be alert for emergencies.	早期注意情報 (気象庁) Probability of Warnings (Japan Meteorological Agency)

●警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

●警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

●避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

●Emergency Safety Measures (Alert Level 5) indicates a life-threatening situation in which you can no longer safely evacuate. Please evacuate before Alert Level 5 is issued. ●Evacuation Recommendations will no longer be used. From now on, all residents should evacuate from affected areas when or before Evacuation Instruction (Alert Level 4) is issued.

●Elderly people, those with disabilities, and others who may need more time to evacuate should evacuate from affected areas when Evacuation of the Elderly, Etc. (Alert Level 3) is issued.

※1すでに災害が発生・切迫しており、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

Note 1: Alert Level 5 is not information that is always issued due to the fact that a disaster has already occurred or is imminent and the municipality is not in a position to assess the disaster situation.

Note 2: An Alert Level 3 indicates that everyone living in the evacuating area should prepare to evacuate if the Alert Level is raised. People who may have difficulty evacuating quickly or who feel that they are already in danger should proceed to evacuate themselves.

避難所の種類 Types of shelters

避難所開設について Opening of shelters

災害時に全ての避難所が開設されるとは限りません。

●地震の場合は建物の安全性を確認して開設を判断します。

●洪水の場合は避難対象地域に応じて避難所を開設します。

開設する避難所については、テレビ・ラジオ・防災メールや広報車など複数の手段でお知らせします。

Not all shelters open at the time of a disaster.

●In case of an earthquake, the opening of a shelter will be determined after confirming the safety of the building.

●In case of a flood, shelters will be opened depending on the areas to be evacuated.

Shelters to be opened will be announced by multiple means (e.g., TV, radio, disaster prevention mail, loudspeaker trucks).

指定避難所 Designated shelters

災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

These are "places for evacuation (e.g., public facilities)" to accommodate evacuee for a short period when a disaster occurs or is likely to occur.

一時避難所・指定緊急避難場所 Temporary/Designated emergency evacuation place

災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

These are facilities and places for temporary evacuation at the time of a disaster or when there is risk of a disaster.



防災情報

災害の被害を軽減するために

自ら守る 地域で守る

●町民一人ひとりが地域防災の主役です

ふだんの防災活動、災害時の対応どちらも、家庭(自助)、地域(共助)、行政(公助)それぞれの取り組みが不可欠です。

そして、それぞれの連携によって、地域の防災力がさらに高まります。

自助 自ら備え、 いのちを守る

- 家屋の耐震化、家具固定
- 非常持出品、備蓄品の準備
- 避難場所、避難経路の事前確認
- 災害情報の収集・早めの避難



減災

共助

地域や隣近所が 助け合う

- 町内会や地域による防災訓練の実施(自主防災組織)
- 要配慮者(避難行動要支援者)の支援
- 避難所運営



公助

国や道、 市町村の取組み

- 行政による平時の防災活動
- 災害時の救援、救出、応援、復旧活動
- 復興事業



自主防災組織

住民の皆さんが協力して自分たちの身を守る「共助」は特に大切です。一刻の予断も許さないような状況では、行政の支援を待っては間に合いません。そのような時、隣近所の方と協力して、被害に遭った方を救助、救援することでお互いの身を守ることができます。そのためにも「自主防災組織」の存在は不可欠なので、設立をおすすめします。

●自主防災組織とは

地域住民の方が連帯して防災活動を行う組織です。

●活動の内容

- 平常時…防災知識の普及、防災訓練の実施など
- 災害時…情報収集、救出活動、初期消火活動、地域住民の避難誘導など

●組織するためには

- 公民館や町内会単位など、活動しやすい単位で協議してみましょう。
 - 町や消防などにご相談ください。結成までのお手伝いをいたします。
 - 組織の運営に係る経費について、町では助成を行っています。
- ※結成後は組織の班長以上に、町から物品(ヘルメットや懐中電灯など)の貸与をいたします。



要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

介助が必要な方



複数人に対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。

目や耳の不自由な方



音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。

観光客、外国人の方



土地勘のない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振りなどで伝える。

普段からの交流



災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。

災害や緊急時に備えて救急医療情報キット(専用容器)の設置にご理解・ご協力を

高齢者や障がいのある方が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」の時のために「救急医療情報キット(専用容器)」の設置を行っています。

また、「救急医療情報キット」が設置されているお宅のご近所にお住まいの方は「地域支援者」として日常の見守りや災害時の避難誘導にご協力をお願いします。





防災情報

防災無線の導入と防災ラジオの貸し出し

災害警報や町からの重要なお知らせを、素早く的確にお知らせできるよう、防災無線（屋外拡声機［スピーカー］と防災ラジオ）が整備されています。

屋外拡声機［スピーカー］

役場、中土幌公民館、下居辺公民館に設置

防災ラジオ

- (1) 全世帯に無償で貸し出し
- (2) 停電時は自動で電池に切り替え
- (3) 聞き直し可能な放送を受信した場合、赤いランプが点滅してお知らせします（聞き直しスイッチを押すと点滅を解除できます）
- (4) ACアダプタが接続されている間、電池は消耗しません
※劣化による液漏れ防止のため、最低1年に1回は電池を交換してください
- (5) 電池LED（赤色）が点滅している場合は、すみやかに電池を交換してください
- (6) 町外への転出等により、防災ラジオが不要になる場合は、町へご返却ください



▲ 町内に配布された防災ラジオ

問い合わせ

●使用方法・故障など	防災ラジオコールセンター 0120-388-280（24時間・年中無休）
●上記の他全般	土幌町役場 総務企画課 総務グループ 01564-5-5211

避難所での感染症対策

避難所では、衛生状態の悪化や長期化する避難生活でのストレスなどによる避難者の体力・抵抗力の低下が考えられます。そのため避難所は、感染症が発生しやすく、また、集団で生活をしていることから発生した感染症が拡がりやすい環境にあるため、感染拡大防止に万全を期することが重要なことから、次の点に留意します。

避難所の開設

- (1) 可能な限り多くの避難所の開設
避難所の収容人数を考慮し、指定避難所以外の避難所の開設など、通常の災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図るとともに、ホテルや旅館の活用等も検討します。
- (2) 親戚や友人の家等への避難の検討
緊急避難の後、避難生活が必要な方に対しては、避難所が過密状態になることを防ぐため、必要に応じ、可能な場合は避難者に対し、親戚や友人の家等へ避難していただくことも検討します。

避難所の衛生管理

- (1) 手洗い、咳エチケット等の基本的な対策の徹底
避難者や運営スタッフは、頻繁に手洗いや咳エチケット等の基本的な感染症対策を徹底します。
- (2) 避難所の衛生環境の確保
・トイレは定期的に清掃と消毒を行います。
・避難所の居住区域は原則土足厳禁にします。
- (3) 十分な換気の実施、スペースの確保等
・避難所内は、定期的に十分な換気を行います。
・避難者が十分なスペースを確保できるよう留意し、カーテンや段ボール等によるパーティションも活用します。

ペットを連れての避難について

避難の指示があった時には、動物を連れて避難しましょう。
災害時は人も動物も興奮していますから、普段と違った行動を取ることも考えられます。リードは放さないようにしっかり持ち、キャリーバッグやケージはしっかり抱えて動物の安全に気を配りましょう。
避難所では、動物の世話やフードの確保、飼養場所の管理は飼い主の責任の下に行うことになります。衛生的な飼養管理を行うことはもちろん、周りの人に配慮したルールを作り、飼い主同士が協力して助け合しましょう。



『非常持出品』＆『備蓄品』チェックリスト

非常持出品 災害時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう。

必需品 ☐ 懐中電灯 ☐ タオル・毛布	☐ 携帯ラジオ ☐ 衣類・下着類	☐ 予備電池 ☐ 感染症対策用品	☐ 飲料水 (1人1日3リットル目安) ☐ 貴重品	☐ 非常食 ☐ お薬・救急セット (お薬手帳も忘れずに！)
--	---	---	---	---

備蓄品 最低3日分の準備をしておきましょう。(できれば7日分の備蓄を心がけましょう)

燃料 ☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ ☐ 固形燃料	非常食品 ☐ お米(レトルト・アルファ米も便利) ☐ 缶詰・レトルト食品 ☐ 梅干し・調味料 ☐ ドライフーズ・チョコレート・飴	必要に応じて準備しましょう ☐ ビニール袋・ティッシュ ☐ ろうそく・マッチ・ライター ☐ 洗面用具・生理用品 ☐ 大人用紙おむつ・携帯用トイレ ☐ 粉ミルク・ほ乳びん・紙おむつ ☐ メガネ ☐ 携帯電話充電器(電池式) ☐ 雨具・軍手・使い捨てカイロ ☐ ヘルメット・帽子・マスク ☐ ラップフィルム (お皿に敷くと洗う必要がない)
飲料水 ☐ ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク 1人1日3リットル×3日分	その他 ☐ 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) ☐ 寝袋 ☐ 各種アウトドア用品 ☐ ポータブルストーブ(電池式)	

災害への備え ～日常生活で消費しながら備蓄する～

災害に備え、食料等を備蓄する必要性を感じる方は少なくありませんが、数量の管理や消費期限の確認などを考えると、実際に備蓄を継続するのはなかなか難しいものです。

しかし、普段から利用しているカップ麺やレトルト食品等を少し多めに購入し、日常生活で消費しながら備蓄する「ローリングストック法」であれば、いざという時にも日常生活に近い過ごし方ができます。

備蓄例
カップ麺、レトルト食品、缶詰 など



地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。



停電時の備え

備え① 安全に避難するためには

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。

**リビングや寝室などに
懐中電灯や足元灯を備えましょう。**

懐中電灯と足元灯とを兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。



備え② 災害情報を確保するためには

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。

ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。
停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて

家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。

揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの対処法を想定しましょう。



家屋・室内の安全対策

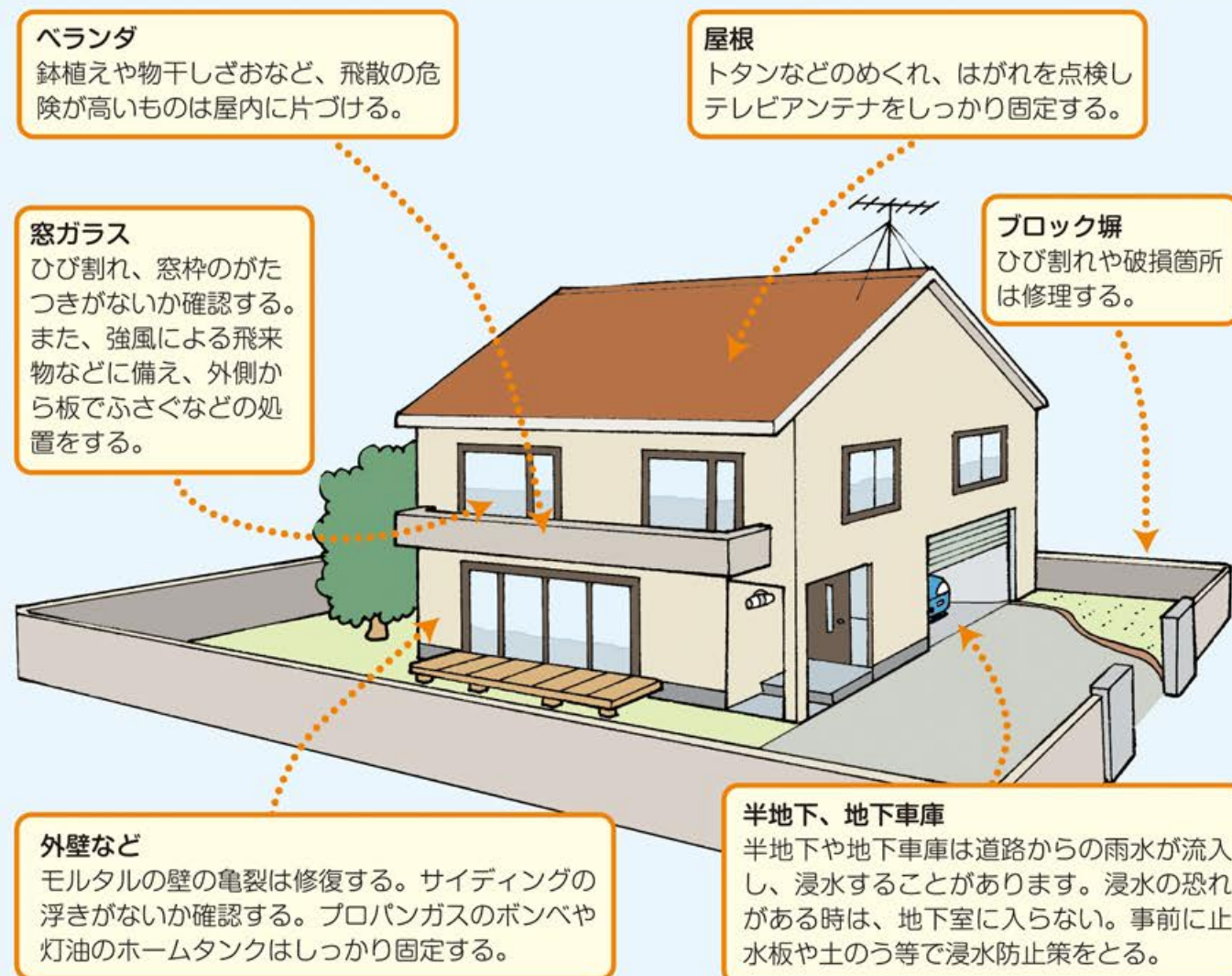
被害をおさえるために家屋や屋内の点検をし、安全な環境をつくっておきましょう。





風水害

風水害に備える



雨や融雪により河川が増水し、洪水が起きることがあります。その場合には、避難に関する情報を町の判断で発表しますので、これらの情報に注意しましょう。

洪水・土砂災害の警戒レベル分け

低い ← 危険度 → 高い					
	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難・防災気象情報など	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水 注意報 (気象庁)	高齢者等避難 (市区町村) 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報 (気象庁)	避難指示 (市区町村) 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 (都道府県・気象庁)	緊急安全確保
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	避難に備え、 避難行動を確認	危険な場所から 高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保!

風水害の危険度

●雨による危険度のチェックポイント

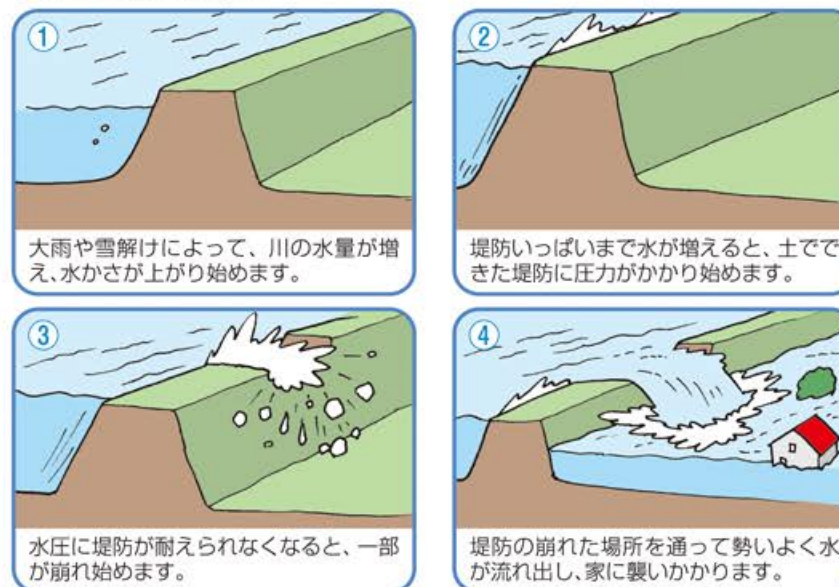


●風による危険度のチェックポイント



洪水についての基礎知識

●外水はんらん



●内水はんらん





風水害

風水害時の心得

近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しています。集中豪雨や暴風雪などによる災害はいつ起こってもおかしくありません。

土幌町でも過去幾度も大雨による被害を受けており、注意が必要です。

被害を減らす心得

- 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- 避難指示などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 浸水しているときは、足元などを棒で注意しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



雪による被害を減らす心得

- 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。
- 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。



気象庁の注意報・警報

大雨や強風などにより災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。



注意報

最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。



警報

町が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。



特別警報

避難情報に従い直ちに避難！外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ！



土砂災害

土砂災害の種類



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。



がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。



地すべり

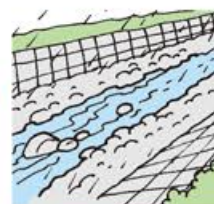
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

こんな前ぶれ現象に注意!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流が濁り流木が混ざり始める



小石がパラパラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

安全に避難するために



土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



土石流では、流れる方向に対して直角方向に逃げましょう。

土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。この情報の発表いかんにかかわらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。

●土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことです。

該当する凡例	
警戒区域	土 石 流

●土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)とは

土砂災害が発生した場合に建築物に破損が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が発生するおそれがあると認められる土地の区域で一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域のことです。



避難所

指定避難所・指定緊急避難場所一覧

対象地区名	番号	施設名	住所	電話番号	避難場所 避難所の 区分	災害種別		
						洪水 内水氾濫	がけ崩れ 土石流 地すべり	地震 火事
中土幌	①	中土幌公民館	中土幌西 2 線 80	7-4126				
	②	中土幌小学校	中土幌西 2 線 88	7-4123				
土幌南	③	農村運動公園野球場	土幌西 2 線 148	—				
	④	南地区公民館	土幌西 2 線 148	5-2480				
佐倉	⑤	佐倉交流センター	土幌東 7 線 132	5-4195				
土幌北	⑥	北地区公民館	土幌西 2 線 178	5-2673		—		
上居辺	⑦	上居辺へき地保育所	土幌東 7 線 175	5-3354				
	⑧	上居辺小学校	土幌東 7 線 175	5-3334				
下居辺	⑨	プラザ緑風駐車場	下居辺西 2 線 134-10	—		—	—	
	⑩	下居辺公民館	下居辺西 2 線 134-10	5-2370		—	—	
中音更	⑪	旧北中音更小学校グラウンド	中音更西 3 線 180	—				
	⑫	川西へき地保育所	上音更西 3 線 182	5-3549				
	⑬	中音更地区交流促進センター	上音更西 4 線 181	5-2969				
新田	⑫	川西へき地保育所	上音更西 3 線 182	5-3549				
	⑭	土幌高等学校	上音更 21	5-3121				
西上	⑫	川西へき地保育所	上音更西 3 線 182	5-3549				
	⑮	西上地区公民館	上音更西 3 線 227	5-4022				
市街 南町・西町	⑯	南町公民館	土幌 228	5-3038				
	⑰	農村運動公園駐車場	土幌西 2 線 150	—				
	⑱	総合研修センター	土幌幹線 167	5-4733				
	⑲	町営グラウンド	土幌幹線 168	—				
市街 中町・北町	⑳	土幌小学校	土幌西 2 線 164	5-2251				
	㉑	町民保健センター	土幌西 2 線 169	5-2108				
区分無	㉒	コミュニティセンター	土幌 225	5-2211				
	㉓	中央中学校	土幌幹西 1 線 163	5-2442				
	㉔	道の駅ピア 21 しほろ	土幌西 2 線 134-1	5-3940				
	㉕	土幌デイサービスセンター	土幌西 2 線 169-5	5-3000				
	㉖	のむら葬祭土幌斎場	土幌幹線 169-5	9-6000				

※避難場所、避難所の区分記号 指定避難所兼指定緊急避難場所 指定避難所 指定緊急避難場所 福祉避難所

※災害種別について
災害の対象とする異常な現象の種類別となっています。 洪水、内水氾濫 がけ崩れ、土石流及び地すべり 地震、火事

※福祉避難所は、土幌町が必要に応じて開設する二次避難所です。

ハザードマップを収納してください

〈マップは常に見えるところに貼っていただくか、定期的に見て避難経路を確認しておきましょう〉

わが家の防災メモ

▼記入しましょう！

ご家族のみなさんで話し合い、書き込んでおきましょう。

集合場所

家族、ご近所さんと決めましょう！

避難所

地図ページで確認しましょう！

家族・親戚・知人の連絡先・避難先

氏 名	生年月日	血液型	既往症	会社・学校(電話番号など)	避難先

医療機関など

病 院 名	電話番号

緊急連絡先など

連 絡 先	電話番号

緊急電話

119 火災・救急の時は 緊急通報

落ち着いて、次の4つのことを伝えてください。

- ①火災か救急か ②住所や場所の目安
- ③詳しい状況 ④通報者の名前・連絡先

171 災害時の連絡は 「災害用伝言ダイヤル」で！

災害発生時に利用できます。

「171」後はガイダンスに従って録音・再生を！

録音 171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)

再生 171+2+自分の家の電話番号(市外局番から)

全国瞬時警報システム(Jアラート)

Jアラートとは、エリアメールや緊急速報メール等を通じて緊急情報を瞬時に国から住民へ直接伝達するシステムです。士幌町では防災ラジオおよび屋外拡声器も用いて行います。

Jアラート によって伝達 される情報

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊
攻撃情報
- 大規模テロ情報
- その他国民保護情報
- 緊急地震速報
- 気象等の特別警報

防災情報

士幌町のホームページ

<http://www.shihoro.jp/>



士幌町LINE公式アカウント

北海道防災情報

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>



川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

士幌町防災メールシステム

右のQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。数分後に「メールサービス本登録のご案内」という件名のメールが届きますので、指定されたURLにアクセスし、登録を完了してください。



※QRコード読み取りができない方は、bousai.shihoro-town@raiden.ktaiwork.jpへ空メールを送ってください。

※空メールを送信できない機種では、本文に「あ」と入れて送信してください。

※迷惑メール防止機能をお使いの方は、登録する前にasp-mail@shihoro.jpからのメールが受信できるように設定してください。